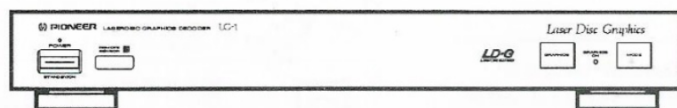
取扱説明書

レーザーディスク グラフィックス デコーダー

LG-1

(GRAPHICS)

パイオニアの製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をお読みください。
後々お役に立つこともありますので「保証書」と一緒に保存してください。

安全のために！

本文中に記載されているこの表示は、誤った使い方をした場合、あなたや他の人々に危険をおよぼすおそれのあることについて書かれています。
注意深くお読みください。

■目　次■

使用上のご注意

安全のために！

故障や火災・感電を未然に防ぐために必ずお守りください

■湿気やホコリの多い所へは置かない
湿気やホコリの多い所、調理台のそばなど油煙や蒸気が当たる所には置かないでください。

■暖房器具の近くには置かない
ストーブなどの発熱体のそばや直射日光の当たる所に置かないでください。

■不安定な所や振動のある所へは置かない
傾いた所や振動のある所、ぐらつくような台の上には置かないでください。落ちたり、倒れたりして危険です。

■通風孔をふさがない
通風孔は内部の発熱を抑えるためのものです。毛足の長い敷物やジュータン、布団、ベッド、ソファーの上などに置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。

■液体をこぼさない
本機の上に水の入ったコップや花びん、金魚鉢、化粧水などを置かないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

■異物を入れない
通風孔などからヘアピンや針、硬貨などの金属性の物、紙やマッチなどの燃えやすい物などを差し込んだり落したりすると、故障や火災、感電の原因になります。
異物が入ったときは、すぐ電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

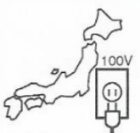
■分解しない
本機のキャビネットははずさないでください。電圧の高い部分がありますので内部をさわると感電するおそれがあります。
改造は発煙、発火の恐れがありますので絶対にしないでください。お客様の改造による性能の劣化や故障は当社では責任を負いません。

■電源コードは引っ張らない
電源コードの抜き差しは電源プラグを持って行ってください。また、ぬれた手で取り扱うと、感電の恐れがあります。電源コードは製品や家具などの下に敷いたり、物にはさんだりしないでください。また、他のコードを継ぎ足したり、往来の激しい場所に放置しないでください。コードを損傷させ、感電や火災の恐れがあります。電源コードはときどき点検して、傷んでいたら交換を依頼してください。

■異常に気がついたら電源プラグを抜く
万一、異常な音やにおい、煙が出たときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

■長時間使用しないときは電源プラグを抜く
外出、旅行などで長時間留守にされるときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■乾電池の誤った使い方をしない
乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください（電池の注意事項もよく見てください）。

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1か月）使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

■交流100ボルト以外では使用しない
本機は日本国内専用仕様（交流 100V（ボルト））です。クーラー用などの200Vコンセントには接続しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源にも使用できません。

■容量以上の接続はしない
製品に付属のAC OUTLET (電源コンセント)には、そのパネルに表示された容量を超える消費電力を持つ電気機器を接続しないでください。製品の故障や火災の恐れがあります。
また、テレビなど電源が入ったときに大電流の流れる機器は、テレビを接続できる設計となっている製品以外には接続できません。

- 本機の修理および内部の点検、調整はパイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお買い上げの販売店にご依頼ください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞って、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがあるのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品に長時間触れると、キャビネットが傷むので注意してください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

落雷、静電気等、外部からの影響により本機が正常に作動しない場合があります。このような時は、電源スイッチをON／OFFするか、電源コードを1度抜いて再度差し込むと正常に作動します。

付属の光ファイバーケーブル取扱上の注意

① 光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げると破損する恐れがあります。ラックなどに入れるとき、特にご注意ください。輪にして保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。

② 接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。
③ 光ファイバーケーブルのプラグに汚れやほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。
④ 光ファイバーケーブルを接続しないときは、本機の光端子（光デジタル）に防塵キャップを差し込み、ほこりが付着しないようにしてください。

特長

サブコードデコーダーを搭載

デコーダーが接続できるレーザーディスクプレーヤー（１１ページ参照）と接続すると、サブコードグラフィックス対応ディスクが楽しめます。シナリオディスクなどのグラフィックス対応ディスクでは、グラフィックス（静止画）や文字を表示することができます。
ＣＤグラフィックスでは、歌詞スーパーやグラフィックス（静止画）が映し出され、いっそう楽しみが広がります。

映画の台詞などを好みの位置に移動するスクロールファンクション

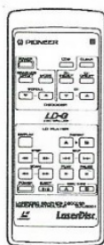
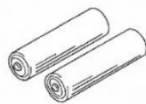
リモコンのスクロールキーによって、グラフィックス画面の表示位置を１８段階まで好みの位置に移動することができます。

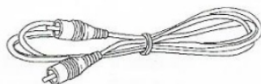
豊富なグラフィックスチャンネル

ディスクに記録されているチャンネルの内の、１６チャンネルのうちから好みのグラフィックスを選べます。（現在市販されているディスクのほとんどは、００、０１チャンネルです。）

付属品の確認

包装をといたら、まず次の付属品がそろっているかを確かめてください。

リモコン

単４乾電池
(R03/UM-4)

２本

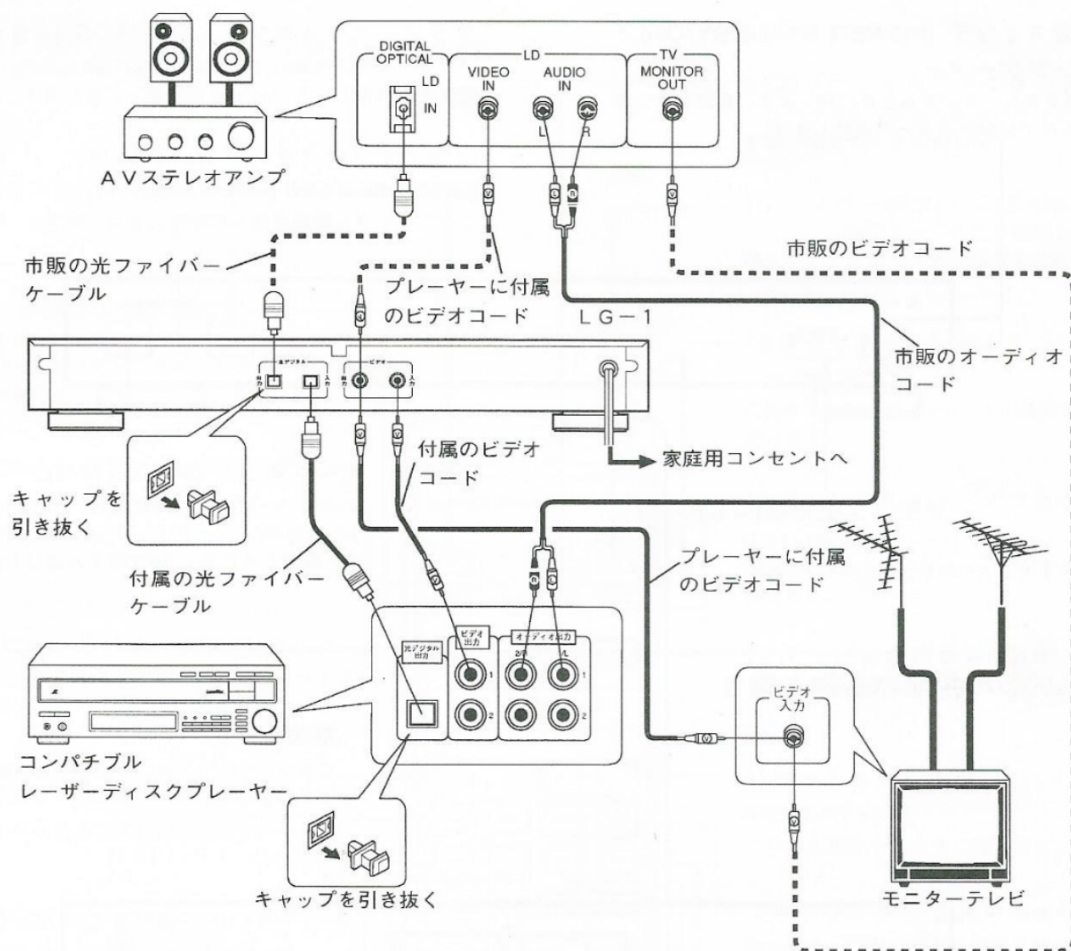
ビデオコード

１本

光ファイバーケーブル

１本

- 取扱説明書
- 保証書
- サービス窓口・ご相談窓口

接続のしかた

レーザーディスクプレーヤー、ステレオアンプ、モニターテレビを接続する場合

接続方法：

① 本機の光デジタル入力端子とレーザーディスクプレーヤーの光デジタル出力端子を接続します。(また、ＡＶステレオアンプの光デジタル端子を使用している場合は、本機の光デジタル出力端子と接続します。)

② 本機のビデオ入力端子とレーザーディスクプレーヤーのビデオ出力端子を接続します。

③ 本機のビデオ出力端子とモニターテレビのビデオ入力端子を接続します。(または、本機のビデオ出力端子とＡＶステレオアンプのビデオ入力端子を接続します。)
ご使用になっているテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

④ 光デジタル入力端子やビデオ端子にケーブルがしっかり接続されていないと、正しい動作をしない場合があります。この場合は、しっかり接続しなおし、電源スイッチを押しなおしてください。

* 最後に電源コードを接続してください。

ご注意：

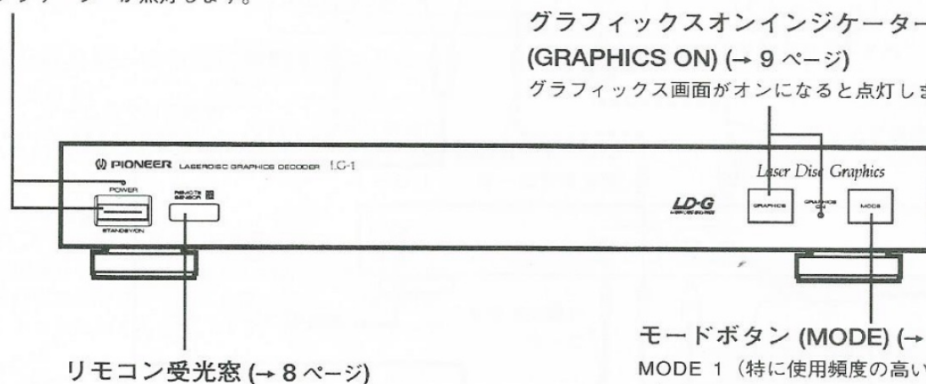
- 本機は指定の光出力端子付レーザーディスクプレーヤーとだけ接続できます。それ以外のレーザーディスクプレーヤーやＣＤプレーヤーでは機能しません。
  接続可能な機種は、１１ページを参照してください。
- 本機は、外部からのビデオ入力がないと機能しません。ビデオ入力がないと、電源のON／OFF以外は働きません。また、本機の電源を切ってもコンセントを抜かなければ、ビデオ出力端子からビデオ入力と同じ信号が出力されます。

各部の名称と働き

前面パネル各部の名称と働き

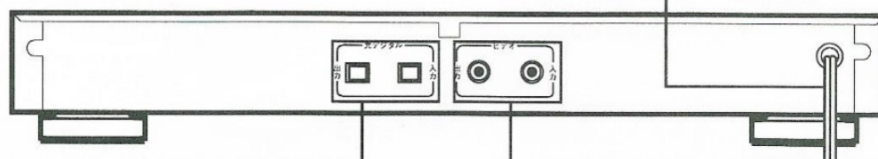
電源スイッチ (POWER STANDBY/ON)／インジケーター
電源をオン／オフするときに押します。電源をオンにするとインジケーターが点灯します。

グラフィックスボタン (GRAPHICS) (→ 9 ページ)
グラフィックス画面のオン／オフを切り換えます。
電源を入れるとグラフィックスはオンになります。

グラフィックスオンインジケーター (GRAPHICS ON) (→ 9 ページ)
グラフィックス画面がオンになると点灯します。

リモコン受光窓 (→ 8 ページ)

モードボタン (MODE) (→ 10 ページ)
MODE 1（特に使用頻度の高いチャンネル０、１）とMODE 2（チャンネル２）を切り換えます。電源を入れると MODE 1 が選ばれます。

背面パネル各部の名称と働き

電源コード
電源コンセント（ＡＣ 100Ｖ、50／60Ｈｚ）につなぎます。

光デジタル出力端子
ステレオアンプの光デジタル入力端子を使う場合に、この端子と接続します。光デジタル入力端子を接続してＣＤ、ＣＤＶやデジタル音声付きＬＤなどをデジタル音声で再生すると、このデジタル音声信号をデジタルのまま出力します。
マイクの音声、サラウンド効果やＬＤのアナログ音声は出力しません。カラオケ時には使用できません。

光デジタル入力端子
レーザーディスクプレーヤーの光デジタル出力端子と接続します。

ビデオ出力端子 (ピンジャック)
テレビ、またはＡＶアンプのビデオ入力端子と接続します。

ビデオ入力端子 (ピンジャック)
レーザーディスクプレーヤーのビデオ出力端子と接続します。

リモコン各部の名称と働き

数字は説明のあるページです。ページの書いてあるボタンは本機を操作するボタンです。ページの書いていないボタンはプレーヤーを操作するボタンです。
リモコンと本機の前面部やプレーヤーで同じ名称やマークが付いているボタンは、同じ働きをします。

9 電源ボタン (POWER)
デコーダーの電源をオン／オフするときに押します。

10 モードボタン (MODE)
MODE 1（特に使用頻度の高いチャンネル０、１）とMODE 2（チャンネル２）を切り換えます。電源を入れると MODE 1 が選ばれます。

9グラフィックスオン／オフボタン (GRAPHICS ON/OFF)
グラフィックス画面をオン／オフするときに押します。

9 スクロールボタン (SCROLL)
グラフィックス表示位置を上下に移動するときに押します。

ディスプレイボタン (DISPLAY)
表示を切り換えるときに押します。

コマ送りボタン (STEP ◀II / II▶)
静止画再生のコマ送りに使います。

スキャンボタン (SCAN ◀◀ / ▶▶)
早送り、早戻しをします。

電源ボタン (POWER)
レーザーディスクプレーヤーの電源をオン／オフするときに押します。

停止／取出しボタン (EJECT ■/⏏)

9 CDグラフィックスボタン (CDG)
ＬＤグラフィックスとＣＤグラフィックスを切り換えるときに押します。

10 クリアーボタン (CLEAR)
チャンネル選択モードのとき機能します。選んだチャンネルと表示位置を初期化するときに押します。

10 チャンネルセレクトボタン (CH SELECT)
このボタンを押すとチャンネル選択モードになります。

10 チャンネルオン／オフボタン (CH ON/OFF)
選択したチャンネルをオン／オフするときに押します。

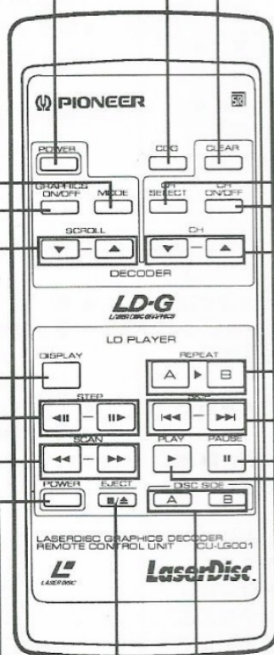
10 チャンネルボタン (CH)
チャンネルを選ぶときに押します。

リピートＡ／Ｂボタン (REPEAT A/B)
くり返し再生するときに使います。

スキップボタン (SKIP |◀◀ / ▶▶|)
前後のチャプターやトラックへ移ります。

一時停止ボタン (PAUSE II)

再生ボタン (PLAY ▶)

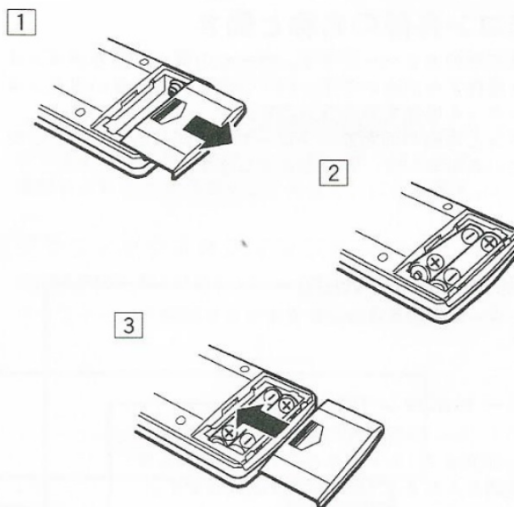
ディスクサイドＡ／Ｂボタン (DISC SIDE A/B)
ディスクの再生する面（表面：Ａ、裏面：Ｂ）を選ぶボタンです。

リモコンの操作のしかた

リモコンに電池を入れる

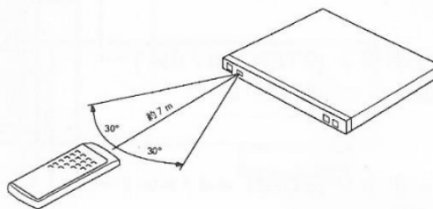
1 裏面のふたを開ける。
2 ⊕、⊖ に注意して電池をはめ込む。
3 ふたを閉める。

安全のために！

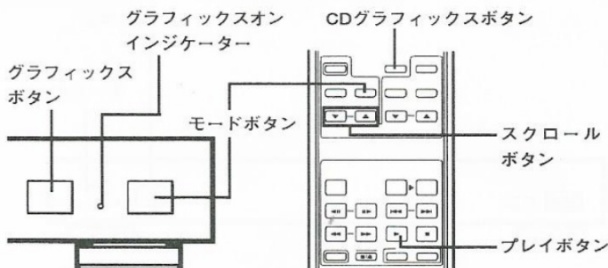
乾電池は、誤った使い方をすると液漏れや破裂などの危険があります。次の点について特にご注意下さい。

- 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを電池ケースの表示通り正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には充電式と充電式でないものがありますので、混ぜて使用しないでください。また電池の注意表示をよく見てご使用ください。

リモコンの操作

リモコンはデコーダー前面部のリモコン受光窓に向けて操作します。デコーダーからリモコンの距離は７ｍ以内、またリモコン受光窓を基準にして左右30゜までの範囲で操作できます。

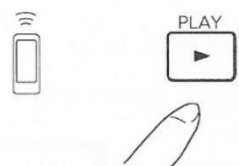
- リモコン受光窓に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。
- リモコンが操作可能範囲で操作されていても、間に障害物があったり、角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線の出る機器の近くで本機を使用したり、赤外線を使ったリモコン装置を使用すると本機が誤動作することがあります。また、赤外線信号によってコントロールされる他の機器が本機のリモコンによって誤動作することがあります。誤動作の起きないよう、設置場所を変えてください。
- 長い間（約１ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。液漏れが起きてしまったときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンの上に本などを置かないでください。ボタンが押され続け、電池が消耗することがあります。

LD/CDグラフィックスを楽しむ

ＬＤグラフィックス、ＣＤグラフィックスとは

ディスクの記録フォーマットには、映像や音声信号を記録する場所以外にサブコードと言う記録場所があります。ここに、映画の台詞や歌の歌詞などの信号を記録しておき、その信号を読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。ＬＤグラフィックスディスクには LD-G マークが付いています。ＣＤ（またはＣＤＶ）グラフィックスディスクには、GRAPHICS マークが付いています。グラフィックスを楽しむには、これらのマークが付いたディスクをご使用ください。

1 プレーヤーとデコーダー両方の電源を入れ、グラフィックス対応ディスクをプレーヤーにセットする。

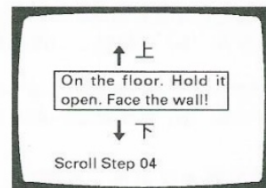
2 リモコンのＣＤグラフィックスボタンでＬＤグラフィックスとＣＤグラフィックスを切り換える。

- LD グラフィックスを再生するときは、テレビ画面をLD Graphicsの表示にします。（初期設定はLDグラフィックスです。)
- CDグラフィックスを再生するときは、テレビ画面をCD Graphicsの表示にします。

3 プレーヤーでディスクの再生を始める。

グラフィックス表示の位置を変えるには

映画の台詞などの表示位置を変えることができます。グラフィックスを選んだときの表示位置（初期値）はグラフィックスによって異なります。

リモコンのスクロールボタン（▼ または ▲）を押します。

- ▼：グラフィックスが下に移動します。
  ▲：グラフィックスが上に移動します。
- Scroll Step 表示になり、00 から17ステップまで18段階に移動できます。ボタンを１回押すごとに２秒間ステップ表示を出し、押し続けると連続してステップ表示が増減します。

グラフィックスを解除にするには

本体のグラフィックスボタンまたはリモコンのグラフィックスオン／オフボタンを押すと、画面表示が Graphics ON から Graphics OFF になりグラフィックスは解除されます。

ご注意：

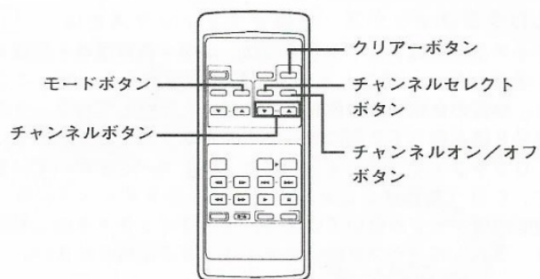
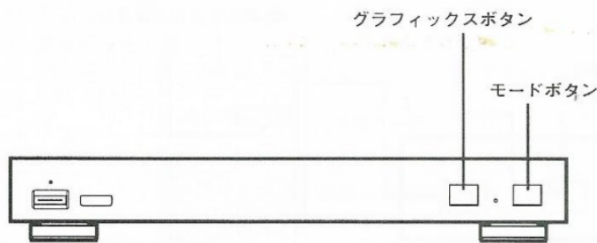
- グラフィックスが記録されていないディスクを再生すると、まれに誤ったグラフィックス映像を出すことがありますが故障ではありません。グラフィックスが記録されていないディスクを再生するときは、必ずグラフィックスを解除してください。
- 静止画像時および一時停止時は、グラフィックス映像をテレビ画面上に残すことができます。
- プレーヤーによっては、ＣＤダイレクトモードで画面表示が消える機能のものがあります。このようなプレーヤーでは、必ずＣＤダイレクトモードを解除してグラフィックス再生をしてください。
- CDグラフィックス再生後、ＬＤグラフィックスに切換えるには、もう一度CDグラフィックスボタンを押してください。

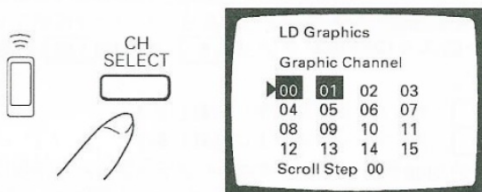
LD/CDグラフィックスディスク再生時、プレーヤーで次の操作をすると、グラフィックス映像の“画面や文字が欠ける”、“画面と文字、画面と画面、文字と文字が重なる”、“画面や文字の色が変わる”ことがありますが故障ではありません。しばらく再生すると、正しいグラフィックス映像になります。

- 早送り、早戻し（SCANつまみ、SCANボタン）
- 一時停止ボタン　● サーチ　● ワンスモア　● コマ送り

CDグラフィックス再生中、一時停止してから選曲をしたとき、曲が始まってもグラフィックス映像が切り換わらないことがあります。このようなときには、早送り、早戻し（SCANつまみ、SCANボタン）を操作するかまたはワンスモアボタンを操作すると正常な映像に戻ります。

LDグラフィックスのときはLD Graphics, ＣＤグラフィックスのときはCD Graphics 表示にしてお楽しみください。反対では、正しい再生ができません。ただし、LDグラフィックスディスクの再生時CD Graphics表示にするとグラフィック映像のみとなります。

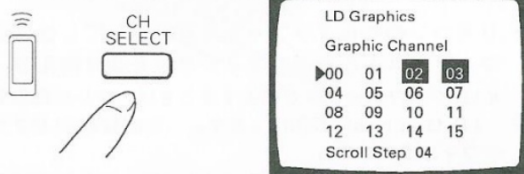
LD/CDグラフィックスを楽しむ

グラフィックスチャンネルを変えるには*1

1 チャンネルセレクトボタンを押す。
- Graphics Channelの画面表示が出ます。

2 リモコンのチャンネルボタン(▼ または ▲)でチャンネルを選ぶ。
- ▼：押すごとに小さい数字のチャンネルの横にカーソル（▶）が移動し、点滅して示します。
  ▲：押すごとに大きい数字のチャンネルの横にカーソル（▶）が移動し、点滅して示します。

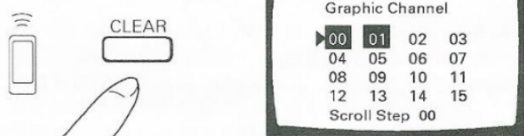
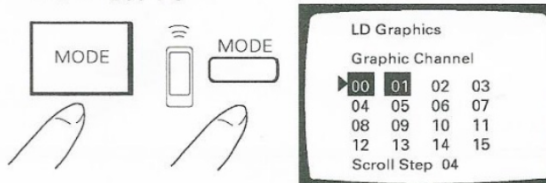
3 チャンネルオン／オフボタンを押す。
- チャンネルがオンになると、反転数字の表示になります。
- チャンネルボタンで選んだあとチャンネルオン／オフボタンを押して、いくつでも選ぶことができます。グラフィックスの入っているチャンネルを２つ以上選ぶと正しく再生されない場合があります。

4 チャンネルの設定が終わったら、もう一度チャンネルセレクトボタンを押す。
- 元の表示に戻ります。

設定したチャンネル、表示位置を初めの位置に戻すには

1 チャンネルセレクトボタンを押し、Graphics Channel の画面を出す。

チャンネル、表示位置の両方を戻すには

2 Graphics Channel を表示しているあいだにクリアーボタンを押す。
初めの状態に戻ります。

チャンネルだけを戻すには

2 Graphics Channel を表示しているあいだにモードボタンを押す。

Graphics Channel 表示を出さなくても、モードボタンを押すことによりチャンネルは戻ります。

*1 LD/CDグラフィックスには0〜15までの16のグラフィックスチャンネルがあります。このグラフィックスチャンネルをオン／オフすることにより、画面に映す情報を選ぶことができます。本機は、電源を入れたときはいつも0と1チャンネルがオンになります。ディスクのジャケットなどにチャンネルの指示が書いてある場合とディスク映像から指示がある場合以外は、変更しなくてもチャンネル0と1（MODE 1）でグラフィックスを出すことができます。

あれっ？グラフィックス映像が出ない

LD/CDグラフィックスディスクを使用してグラフィックスボタンを押してもグラフィックス映像が出ないときは、グラフィックスチャンネルの設定が合っていないことが考えられます。このような場合、モードボタンを押してください。グラフィックスチャンネルが初めの状態に戻ります。また、CDグラフィックス再生中にクリアーボタンまたはモードボタンを操作したり、あるいはチャンネルの変更を行うとしばらくグラフィックス映像が出ない場合がありますが故障ではありません。また、クリアーボタン、モードボタンを操作するとすでに表示されているグラフィック映像が消去されますので、グラフィックス映像が重ね書きされるようなソースではグラフィックス映像構成中に上記ボタンを押すと、正しい映像が得られない場合があります。

仕様

一般

ビデオ出力レベル ....1V (入力 1V,出力75 Ω 終端時)
ビデオ出力インピーダンス ....75 Ω
ビデオ入力インピーダンス ....75 Ω
消費電力 ....10 W
外形寸法 ....420 (幅) x 310 (奥行) x 64 (高さ)mm
重量 ....3.6 kg

付属品

リモコン (CU-LG001) 1
単4乾電池 (R03/UM4) 2
ビデオコード 1
光ファイバーケーブル 1
取扱説明書、保証書、サービス窓口・ご相談窓口 各1

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

デコーダーが接続できるプレーヤー

デコーダーは下記に示すメーカーの機種と接続できます。それ以外の機種と接続した場合、正常に動作しないことがあります。

パイオニア
- LD-X1
- CLD-99S
- CLD-770
- CLD-970
- CLD-500
- CLD-909
- CLD-303
- CLD-110
- CLD-110N
- CLD-919
- CLD-616
- CLD-313
- CLD-200
- CLD-939
- CLD-737
- CLD-535
- CLD-01
- CLD-959
- CLD-757
- CLD-555
- CLD-K77G
- CLD-K11

東芝
- XR-LW66
- XR-LW77
- XR-L33D
- XR-LK65

日立
- VIP-RX6
- VIP-RX7
- VIP-RX8
- VIP-KY44
- VIP-KZ66G

三菱電機
- DP-L1500

NECホームエレクトロニクス
- VP-LS100
- VP-LD300
- VP-L960CV
- VP-L970CV
- VP-LKC100

日本コロムビア
- LA-250C
- LA-260C
- LA-270C
- LA-500C
- LA-550C
- LA-560C
- LA-1600C

ティアック
- LV-2300
- LV-2400
- LV-2500
- LV-5000W
- LV-7000V
- LV-9000

山水電気
- CL-V3000

シャープ
- MV-D50

富士通ゼネラル
- VKC-400

赤井電機
- DP-L1000

日本マランツ
- CDV-70D

オンキョー
- ML-300X
- ML-200A

上記モデル中に、LG-1に付属のリモコンでは、プレーヤー本体の操作ができないモデルがあります。

アフターサービスについて

保証書

保証書は必ず（販売店名・購入日）などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。
保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保証期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低８年間保有しています。

アフターサービスなどについてわからないとき

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのインフォメーションセンター（ＩＣ）をご利用ください。
所在地、電話番号は付属のサービス窓口・ご相談窓口をご覧ください。

修理を依頼するとき

もう一度取扱説明書をよく読んでください。確認した後なお異常のあるときは、まず電源プラグを抜いてから下記の要領で修理を依頼してください。

保証期間中は

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡する内容について：
- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間が過ぎているときは

最寄りのパイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

お客様メモ

- おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住　所 電話番号	お近くのご相談窓口	住　所 電話番号
ご購入年月日	年　　月　　日	型　番	この機種は LG-1 です。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

LaserDisc. レーザーディスクは、パイオニアの商標です。

パイオニア 株式会社　〒153 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<92H00WF4D02>　＜VRA1059-A＞